



Vol.12



CONTENTS

- ♥ 私たちが目指すもの ~これからのビジョン~
- ♥ 当院独自の薬局システム
- ♥ リハビリ室からリラックスタイム
- ♥ 愛心館グループだより
　　プラットホーム&来夢ライン開設特集!
- 愛心循環器クリニック、愛心内科・消化器科クリニック
- ステーションあいしん
- ♥ 季節の催し ~患者様とのふれあい~
- ♥ ぱるすちゃんの投書箱



医療法人社団愛心館の理念

愛心館を利用する主人公は顧客であり、
私たちは自己の尊厳のもと、
心ある誇り高い豊かなサービスを実現する。

私たちは、自分で考え最善の判断をし、
身体の不安や苦しみを和らげ人を助ける。

この基本理念に添い、独自の変化、
進歩を考え日々研鑽する態度を養い実行する。

 医療法人社団愛心館 

愛心メモリアル病院 · 愛心循環器クリニック · 愛心内科・消化器科クリニック

訪問看護支援 ステーションあいしん · 介護老人保健施設プラットホーム · 来夢ライン 訪問看護ステーション
療養通所介護事業所



私たちが目指すもの

～これからの中のビジョン～

新年度を迎え、慌ただしい中にも充実した毎日を送っております。

さて、私たちは、常に、医療の「質」をさらにあげるにはどうすればよいか?という課題に取り組んでおります。医療の「質」を測定し、判定する指標には、構造(Structure)、過程(Process)、結果(Outcome)の三要素があり、私たちは、これまでにそれらひとつひとつを積み上げ構築してまいりました。

現在、2008/5/17の日本医療機能評価機構(注1)の認定更新に向けて準備中であります。次のこと重点課題として、改善・構築していく所存です。

- ① 「診療の基本方針」や「目標」を明確にする。
- ② 「手術や治療の統計」を開示する。
- ③ 電子カルテ中にある患者様の「身体状況把握」および「訴え」の記載をより充実させるため雑形を作成し、それを利用することで、患者様の状況を適切に把握する。
- ④ 病棟の薬剤の管理を看護師から薬剤師に移行し、より適切で安全な管理とする。
- ⑤ 看護部内で「看護目標達成基準」「能力開発のための教育計画」「教育計画の予算化」をたて、看護能力の向上を計る。
- ⑥ 在庫品の量と残高の照合を出来るようにし、適切な物流管理システムを構築する。
- ⑦ 「法人の中長期計画」を明確にする。
- ⑧ 「DPC」制度(注2)の取得。

日本医療機能評価機構の認定更新の申込期限が2007年秋にせまっており、現在、迅速な対応を迫られています。上記の項目の施行実績が必要となるのです。

しかしながら、日本医療機能評価機構の認定を更新することは手段であり、本来の目的は医療の「質」を上げ、より良い病院になること、そして、患者様に満足していただけることです。そのことにより、私達職員も充実した日々を送ることを願っております。

本年度もよろしくお願ひいたします。

注1 日本医療機能評価機構
医療の質の向上を図るために、病院などの医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価し、その結果明らかとなった問題点の改善を支援する第三者機関

注2 DPC (Diagnosis Procedure Combination)
正しくは診断群分類(病名を2347個に分類したもの)のこと。この診断群分類を用いた入院医療費支払い制度の俗称。従来は治療における薬剤や検査等がそのまま医療費となっていましたが、DPCでは使用された薬剤や検査の数に関わらず、病名によって一日の医療費が決定されます。この制度は、経済的な面も含んだ医療の効率化と質の向上を目的としており、厚生労働省が行う調査に参加し、DPC対象病院として厚生労働省から認可を得られた場合に適用されます。

Relaxtime

リハビリ室からリラックスタイム

北海道の冬は長く運動不足になります。今年の冬は例年より雪が少なく除雪の機会が減り、運動不足という声も聞こえています。冬道で転ばないように、また転んでも大事に至らないように、筋力とバランス力、柔軟性を身につけたいものです。

70歳代以上の方に特におすすめ! 悠悠運動教室

当リハビリ室では、病気の有無に関わらず、体力の維持・増進と生活習慣病予防・改善のため、個人の年齢やからだの状態に合わせた運動を行っています。仲間とのおしゃべりにも花が咲き、お口のリハビリーションにも最適です。運動のメインは太極拳とエアロバイク(自転車のような器械)・トレッドミル(ルームランナーのような器械)です。

太極拳とは調身(体を整える)、調息(呼吸を整える)、調心(心を整える)の三つの気孔の要素をバランスよく取り入れている健康法です。深呼吸を取り入れながらからだを動かすので、心臓に負担をかけずに血液の流れを良くし肺や筋肉の働きを高めます。また、自律神経の興奮をおさえるため、リラックス効果があり、頭とからだがすっきりします。



医療法人社団愛心館
理事長 高橋順一郎

沿革

1986 4月 「愛心メモリアル病院」開院



1992 5月 管理棟増設工事竣工

1997 1月 法人組織としての診療開始



1998 5月 (財)日本医療機能評価機構より「一般病院種別B」の認定を受ける

1998 10月 法人広報誌「ぱるす」創刊

1999 2月 「訪問看護ステーションあいしん」設立

1999 10月 「介護支援ステーションあいしん」設立

2003 4月 「愛心循環器クリニック」設立(JRタワー内)



2004 1月 (財)日本医療機能評価機構より「一般病院」のカテゴリーで認定更新

2004 12月 「愛心内科・消化器科クリニック」設立(JRタワー内)

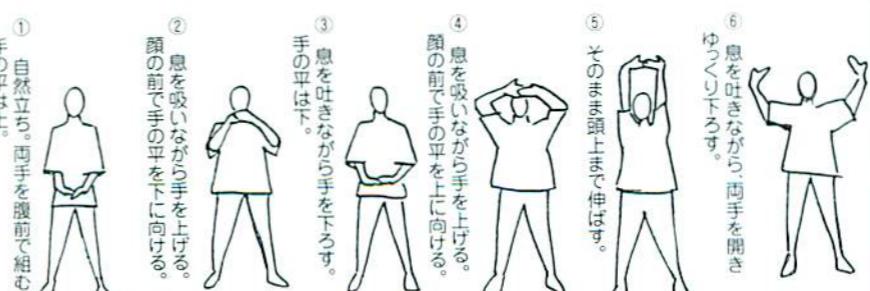
2007 2月 「介護老人保健施設プラットホーム」「来夢ライン訪問看護ステーション療養通所介護事業所」設立(あいの里)

2008 5月 (財)日本医療機能評価機構より「一般病院」の認定更新予定



肩こりを改善!!

肩こりや胃腸に良いと言われている太極拳の一つ“一段錦”をご紹介します。どこでもすぐにできるので、仕事や家事の合間に試してください。



当院独自の薬局システム



愛心メモリアル病院の薬局の業務内容を紹介します。

当院では、入院患者様の回診を行う場合、医師、看護師に加え、栄養士や事務職員、地域医療部の方たちなども同行しますが、私たち薬剤師も立ち会っております。そしてその場で、お薬による副作用は出でないか、処方されたお薬の量は適切か、飲み合わせの悪いものはないかななどお薬の調整を行います。患者様に点滴する薬剤の中には、無菌的に混合しなければいけないものもあり、“クリーンベンチ”という清潔な空間で私たち薬剤師が混合しております。

次に、外来患者様に対するお薬の調剤の流れをお話しようと思います。

① 医師が診察を行い、処方する薬の内容をパソコンに入力します。送信すると、三階にある薬局に処方箋が発行されます。

② 処方された内容が正しいかどうか確認します(量、飲み方に間違はないか、一緒に飲んではいけないお薬が処方されていないか、処方し忘れたお薬はないかなど)。問題がないようであればお薬の用意に取り掛かります。

③ 一人目の薬剤師がお薬を用意します。

④ 二人目の薬剤師がお薬の種類、数などを確認し、薬袋に入れます。

⑤ 最後に、受付窓口にお薬が運ばれ、三人目の薬剤師が患者様とともにお薬を確認し、その後、お薬が渡されます。

お薬をお渡しするまで、計三人の薬剤師が確認を行い、間違いが起こらないように努力しております。それでも、お薬で待たせてはいけないと急いで用意するので、間違つことがあるかもしれません。窓口でお薬を受け取る際には、ご一緒に、お薬の内容は合っているのか、数は間違っていないかなどご確認していただきたいと思います。ご協力をお願いいたします。

今後も、入院、外来ともに患者様中心の理念のもと頑張ってまいりますのでよろしくお願いします。



▲外来受付窓口

出発進行!!

愛心館グループ プラットホーム&来夢ライン

○近況報告

みなさん、お久しぶりです！今年2月に北区あいの里にオープンした愛心館のニューフェイス、「介護老人保健施設プラットホーム」と「来夢ライン訪問看護ステーション・療養通所介護事業所」です。前号の「ばるす」に登場させていただいた



▲個室

時には、まだ「プラットホーム準備室」と言う名称で建設現場のプレハブ小屋に5名のスタッフが常駐して準備作業をしている状態でしたが、昨年末に工事が終わり、1月4日からは法人の他事業所から異動してきたスタッフと開設に伴い新しく採用したスタッフの、合わせて52名が利用者様を迎えるために研修や開業の準備をはじめました。

また2月に入ってからも、看護師、理学療法士、調理師などの専門スタッフの他に、送迎車輌の運転から備品の修理、館内喫茶店のマスターまで、マルチに対応してくれるスタッフが加わり、今では総勢59名の大所帯となっております。

2月のオープンから1ヶ月程、日々新たな課題と戦いながら慌しく過ごしてきたおかげで、ようやく形が出来上がってきたように思います。現在はご利用者様の増加に伴い、見直しを進めて「プラットホームスタイル、来夢ラインスタイル」を作り上げて行く段階に入っています。(…まだまだ戦いは続きそうです。)



▲展望大浴場



▲談話室

クリニックから こんにちは

医療法人愛心館をご利用の皆様、こんにちは。
私達は、札幌駅のJRタワー内にあります、愛心循環器クリニック、愛心内科・消化器科クリニックです。

本院である愛心メモリアル病院の外来の機能をとどめ、さらに胃や大腸の内視鏡検査やMRI、睡眠時無呼吸症候群などの検査ができることが、私達クリニックの大きな特徴です。1月からニューフェイスの看護師芹田英恵さんを加え、合田、白峰の両院長をはじめ、看護師4名、事務1名、検査技師1名の総勢

○名前の由来

前号の「ばるす」で、今回は「名前の由来について」お話しすることにしておりました。「愛心メモリアル病院」の「愛心」が、「心臓を愛する」と「心を大切にする」といった「仕事をする姿勢」を表現しているように、「プラットホーム」や「来夢ライン」の名前にも「施設の運営姿勢」が表現されています。

「名は体を現す。」ではないですが、自分達の進むべき方向を名前に込める事で、これを常に意識し、行動の指標にする事が出来ると考えております。

【プラットホーム】

介護老人保健施設は病院とご自宅の橋渡しをする「中間施設」の役割を担っています。「立ち寄って、再び出発する所」のイメージから(途中下車をして次の目的地へ向う場所=)「プラットホーム」のネーミングとなりました。

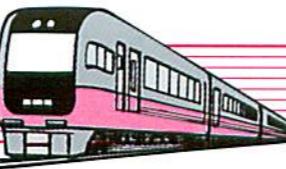
「プラットホーム」は「出発の為の場所である」日常的にこれを意識することは、スタッフにとっても、施設を利用される方にとっても、共通の目標となり、ここでの生活の原動力となると考えたのです。

「ショット寂しげな名前だ」とのご意見をいただくこともあります、決して演歌の世界に出てくる荒波の日本海とセットでイメージしないでください。私たちがここでやろうとしていることは、「生活を明るく活力のあるものにすること」ですので、ボップスやラテンの世界の方がマッチしています。…どうですか？ちょっと楽しげに思えてきませんか？

【来夢ライン】

「来夢ライン」は「プラットホーム」から出発する列車をイメージして、名付けられています。

それぞれのスピードや行き方(生き方)で自分の夢や希望という目的地にむかう、その人だけの列車(=来夢ライン)は、その目的地(夢や希望)の変更によって乗り換えることも、スイッチ



8名で、両クリニックを切り盛りしています。

最近では、昨年内科・消化器科で行った日本消化器病学会のライブ・デモンストレーション(鼻からの胃内視鏡検査)が、好評を博したこともあり、胃内視鏡検査は現在予約でいっぱいの状況になっております。当クリニックでは、胃内視鏡検査、大腸内視鏡検査とともに、一度診察を受けていただいた後に、改めて検査の予定を組んでおりますので、初診すぐ検査ということはございません。患者の皆様には、どうかご理解の程宜しくお願い致します。



プラットより



ボランティアさん募集中!!

プラットホームではレクリエーション(ゲームや囲碁、合唱など)や、趣味活動(料理、手芸、陶芸、木工、パソコンなど)の運営に協力いただける方、お話し相手や整容など身の回りのお世話に協力いただける方、その他のアイディアがある方など、ボランティアで協力をいただける方を求めております。

詳細については「介護老人保健施設プラットホーム・事務」までお問い合わせください。

バックすることも可能です。

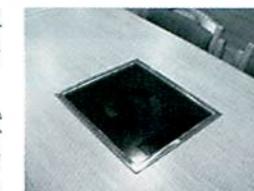
“その人だけの列車(=来夢ライン)に出会っていただきたい…” “目的地にたどりつくまで走り続けることをお手伝いさせていただきたい…”私たち訪問看護師の思いを込めさせていただいている所です。

○料理自慢

施設給食の調理の業務委託が進む昨今ですが、プラットホームでは愛心メモリアル病院同様に、直営での運営を行っております。ホテルの調理長を努めた関口シェフを筆頭に、洋食、和食の現場から来たスタッフなど6名で、入所やデイケアのご利用者様のお食事や、3時のおやつを提供しております。

また、入所された方のみに限定されますが、食堂のダイニングテーブルには「IHヒーター」が内蔵されており、鍋やスキヤキなどを皆で囲めるのも楽しみの一つです。

これらのお食事は、ご利用者様の状態やご要望を考慮しながら、季節感を大切にしたメニューを、管理栄養士と調理長の協働でお届けしております。



▲ダイニングテーブル

介護老人保健施設プラットホーム 来夢ライン

訪問看護ステーション
療養通所介護事業所

Tel.011-776-3037 Fax.011-776-3039

〒002-8072 札幌市北区あいの里2条1丁目20-1

ステーション あいしんだより

昨年9月、ステーションあいしんの利用者様の率直な意見を聞くため、「満足度調査」を実施しました。今回は、そのアンケート結果を報告します。

平成18年度 利用者様満足度調査 アンケート結果

アンケート実施期間：平成18年9月10日～9月30日
送付数：59部 回収数：44部 回収率75%

アンケート質問内容

- | | 満足度 | 不満足度 |
|--------------------------------------------------|------|------|
| ① 自分の気持ち・考え方、価値観などを理解してもらえたことがありますか？ | 84% | 16% |
| ② プライバシーを、侵害されたことがありますか？ | 98% | 2% |
| ③ 自分の苦痛・困っている事を理解してもらえたことがありますか？ | 86% | 14% |
| ④ 態度・言葉遣いで、嫌な思いをしましたか？ | 91% | 9% |
| ⑤ 説明の仕方がわかりにくいことがありますか？ | 95% | 5% |
| ⑥ 自分の目標あるいは看護計画を紙面で示されましたか？ | 45% | 55% |
| ⑦ 自分の意にそぐわない援助をされたことがありますか？ | 100% | 0% |
| ⑧ 自分の体調が悪化した時に適切に対応してもらえたことがありますか？ | 93% | 7% |
| ⑨ 自分が決定したことを否定されたことがありますか？ | 95% | 5% |
| ⑩ 自分のできることまで援助されたことがありますか？ | 93% | 7% |
| ⑪ 日常生活の看護、医療処置・医療機器等の管理 | 97% | 3% |
| ⑫ 主治医やケアマネージャーなど他機関との連携、情報交換がされていないと感じたことがありますか？ | 82% | 18% |
| ⑬ 記録はわかりにくですか？ | 88% | 12% |
| ⑭ 苦情を受ける窓口について説明はありましたか？ | 34% | 66% |
| ⑮ 料金支払い方法は不便ですか？ | 97% | 3% |

アンケート結果を受け、以下のこと取り組んでおります。

- ① 利用者様に目で見て解るような計画づくりを心掛けております。
- ② 一部記録用紙を変更し、文章を明瞭に文字は大きめに書くようにしております。
- ③ 苦情窓口がわかるように、利用者様の健康の記録の表紙に所長の名刺を貼りました。
- ④ 各利用者様に対し担当看護師を決めておりますが、緊急対応時に備え、他の看護師も状況を知る必要があります。そのため、カンファレンスで情報共有をする他、副担当看護師を決め、多面的に利用者様を理解するように努めています。

訪問看護 ステーションあいしん 介護支援

Tel.011-752-3540 Fax.011-748-8771
〒065-0027 札幌市東区北27条東1丁目1-14
加藤ビル3階

季節の催し ~患者様とのふれあい~

昨年の12月にクリスマス会、今年の2月に節分の豆まきが行われました。入院している患者様にも季節感をお届けしたいと病院スタッフ一同、張り切って準備し、クリスマス会、豆まき当日は、患者様とともにとても楽しいひとときを過ごすことができました。



食事部が中心となり、お食事会が開かれました。お寿司や七面鳥のロースト、フカヒレスープや伊勢海老のマヨネーズ和えなど普段とは違う和・洋・中の豪華料理が陳列! 最後には、ケーキが登場し、ローソクの灯りのもと、「メリークリスマス」の声が響き渡りました。患者様には、高橋理事長とともにクリスマスの聖なる雰囲気を味わっていただくことができました。



豆まき

2月2日(金)



病院職員が、赤鬼と青鬼そして福の神に扮装し、各病棟の入院患者様のもとに現れました。病室に鬼が入ると、「鬼は外、福は内」の掛け声とともに豆まきが開始! 最初は迫力満点だった鬼たちも、患者様に思いきり豆をぶつけられ、すごすごと退散していきました。豆まき後、鬼たちは「見事に退治されました。これで患者様が元気になってくれるとうれしいです。」と笑顔で話してくれました。



ぱるすちゃんの投書箱



今回の投書

「トイレに便座除菌スプレーの取り付けをしてほしいです。たまに便座が汚れています。そうじはしていると思いますが、よろしく!!」

A 最近では便座除菌スプレーなどが市販されていますし、デパートなどのトイレでも見かけるようになりました。不特定多数の人が利用されるトイレであれば、衛生的に清潔な環境で使用したいものです。

今回頂戴しました投書から、「トイレットペーパーに除菌スプレーを吹きかけて便座をサッと拭けるようなもの」を設置できるよう調整中です。

貴重なご意見、ありがとうございました。



編集後記

みなさまに医療法人社団愛心館の広報誌「ぱるす」Vol.12をお届けします。今年は、とても暖かい冬でしたね。Vol.11を発行した秋頃から好天に恵まれ、気温が高めの日が続きました。このため、野菜が出来過ぎ価格が暴落し大量の野菜が処分されたり、冬物衣料の売上が不振だったりとさまざまな弊害が生じました。しかし、雪国札幌に住むわたしたちにとっては住みやすい冬だったように感じます。雪が少なく除雪の手間が省かれ、また、暖かかったので暖房費を節約することができました。みなさまは、いかがでしたか?

医療法人社団 愛心館

〒065-0027 札幌市東区北27条東1丁目1-15
TEL(011)752-3535 FAX(011)752-1058
E-mail info@aishinkan.jp
URL http://www.aishinkan.jp

発行／医療法人社団 愛心館

発行日／平成19年4月1日

編集／総務課

発行責任者／高橋 順一郎